

江商連ニュース



みんなで楽しくお買物



潤いのある商店街へ

平成22年11月発行 江東区商店街連合会 広報部/情報ネットワーク部
江東区東陽4-518 江東区産業会館2F TEL 3645-1231 FAX 3645-1150

2011 東京大マラソン祭り

第5回東京大マラソン応援イベント

参加

2011年2月27日(日)

江東区商店街連合会会長 唐川和夫



業振興係7名の計15名は、テレビでも話題となった大島中の橋商店街、メイカセブンの東京マラソン名入れ「特製あんぱん」と、東京マラソンの刺繍入「ネックウォーマー」を並べて配布開始を待ちました。午前11時から無料配布開始。無料という事でテント前は黒山の人だかりとなり、区職員の方々の応援を得ながら行列の整理、



誘導に汗まみれでした。あまりの混雑に、その後は時間を割り振り数量を決めて配布するという事となりました。一方この

2月27日(日)第5回を迎えた東京マラソンの応援イベント、東京大マラソン祭りに参加しました。当日は晴天に恵まれ、

風も無く絶好のイベント日和となりました。朝9時15分に商連事務所に集合し、車に分乗、10時前には祭り会場の有明イーストプロムナードに到着しました。まず甘酒の仕込みから作業開始、カセットコンロ6台に大鍋6個、甘酒の素と水を混ぜ、きざみ生姜を入れて温めます。甘酒作りと配布担当は商連からの女性陣7名と区役所経済課商業振興係の干泥係長の計8名で行いました。この作業を朝から終了時間の4時まで、途中昼食時間の40分を除き休む暇も無く続けていました。



の行列に区観光推進係では、江東区の名所旧跡・名物等の載ったパンフレットとエコバッグの配布を行い江東区と江東区の商店街のPRにも一役買っていました。結果、終了時間の午後4時までに甘酒2,000杯、あんぱん2,000個、ネックウォーマー2,200個を全て配布することが出来ました。

最後にご協力いただきました江東区役所職員の方々、商連役員のご婦人他女性陣、商連役員の方々の協力にあらためて感謝申し上げます。ありがとうございました。

力にあらためて感謝申し上げます。ありがとうございました。

一方、唐川会長他男性陣8名と区役所観光推進係、及び商



商店街の未来を考える

～期待される役割と将来像～

2月26日・日本経済新聞に掲載された記事より抜粋しました。

座談会
出席者

桑島俊彦 (東京都商店街振興組合連合会理事長)

石原武政 (関西学院大学商学部教授・商学博士)

松島 茂 (東京理科大学大学院イノベーション研究科教授)

【商店街が問われています】

石原 商店街は生き物なんです。時代に合わせ、どんどん変化してきました。高度成長期の商店街のイメージは飲食店がなく物販だけ。それが70年代の終わり頃から飲食店が歓迎され、サービス業も出店されるようになりました。しかし82年をピークに商店の数は減って行ってしまいます。その中で商店街の機能として子どもや高齢者をケアする場所としての役割が注目されてきました。

松島 こうした商店街機能の再構築は、都市構造の変化に大きくかかわります。70年代には、駅前の商店街が開発されていきました。しかし80年代半ばになると一家に2台の乗用車という時代になって、商業が都市の周辺に分散し、従来の商店街が希薄化したわけです。そこで「商店街とは何か」を考える必要が生じてきました。商店街がコミュニティー機能と関連付けて語られるようになったのは、商店街の存在意義を問われたからなんですね。そして現在も商店街がどう変わっていかばいいのかが、問われています。

【コミュニティーの担い手「商店街」】

松島 自然に商店街ができるのではなくて、商店街は意思を持ってつくるものだと思います。地域コミュニティーの役割だとか、自分たちの商店街にどんな機能が必要なかを客観的にとらえて、つくっていくべきですね。決してあらかじめあるものではない。

石原 京都市の西新道錦糸商店街では、ずっと前から空店舗にテーブルを出し、お茶が置いてあります。それだけなのですが、まちの人にここでお昼を食べませんか、お弁当を持っておいで、と声をかけたら人が集まるようになった。独居老人が一人でご飯を食べるのもさびしいですから、そこに集まっておしゃべりをして、商店街で晩ご飯を買っていったりします。お茶の用意をするぐらいで、お金をかけずにまちの人たちの絆を作り、孤独を解消しているんです。高齢のおばあちゃんに役所に出す書類の書き方を教えてあげたりもする。

そういうことができる場が、商店街以外になくなってしまっているのです。商店街でできることを無理にならない範囲で広げていくのは大事なことでないでしょうか。

松島 昔、小さな魚屋さんがなぜ成り立つのかを考えたことがあるんですよ。聞いてみると仕入れにコツがあると言うんです。店が小さければ来る客は決まっています。そうすると、あの家は昨日あの魚を食べたから、今日はこれだということまで考えて、仕入れをして、お客さんが来たら、「今日はこんなに入ったよ」と言うそうです。これと同じ話を、江東区のある商店街の呉服屋のご主人からも聞いたことがあります。商品の回転率を上げるには、これを仕入れたら誰が買うかを想定して仕入れる、と。規模の小さな商業が今まで成り立ってきた最大の理由は、顧客の顔を見ていることなのです。商店街のメンバーが、こうした原点に戻れば、お客さんへの声かけや、住民の孤独を救うコミュニケーションが生まれる場に商店街がなっていける気がします。

【商店街としてのファンづくり】

桑島 商店街も地域社会に出て行って、いろんな人に話をしなくてはいけないと思っています。世田谷区烏山には、近くに大学があって、依頼を受けて講演に行ったんです。その縁で、学生に烏山商店街のポイントカードを渡し、会員になってもらいました。すると、これまで商店街で買い物したことがない学生も面白がってくれて、掃除のボランティアに來たり、ペットボトルを商店街の回収機に入れたりして、ポイントを貯めてくれた。普段から情報を発信していくことで、商店街の利用者が増えるのだとわかりました。

松島 まずは、どうしたら商店街に行きたくなるような価値が生まれ出せるのか、そしてその価値をどうアピールしていくかを考えていけばいいですね。

石原 大阪や京都に修学旅行に來た東京の子どもたちが、一日商店街に入って体験するコースも出来ているんです。

仕入れや品出しを子どもたちに手伝ってもらい、体験させる。こうして商店街とのつながりをつくっていくことも大切です。

【今後の商店街のあるべき姿とは？】

松島 日本の商店街の多くを占めるのは近隣型の商店街と地域型の商店街の2つのタイプ。地域型は、近隣型と比較し、やや広域からも人を集められる力があります。一方、近隣型の典型は、日々の買い物で利用する生鮮三品店が中心です。どんなお客さんがいるのか顔が見えますから、お客さんに合わせて、仕入れる商品を変えることもできました。コミュニティーの担い手として機能してきたのです。この2つのタイプを融合された形が、これからの商店街のイメージになっていきそうです。そしてこれからの商店街にとって重要な事は、自然発生的に出来上がっていくのではなく、つくり上げていくものということ。商店街をつくるということは、地域のコミュニティーをつくることも重なっていきます。

桑島 「品揃え」という言葉があるように、商店街には、「店揃え」が重要なのです。しかし、テナントミックスをしていくことは、商店街の課題でもあります。ここにはこういう商店がほしい、と調整する機能がこれまで商店街になかったので、つくっていかななくてはならないのです。

石原 商店街を一気に開発するのではなくて、エリアの中に、あちこちに核になるような、個性の強いお店を埋め込んでいくのも一つの手法ですよ。そうするとまち全体が動き出します。まったくチェーン店のない、地元の店ばかりの商店街も面白みがないので、チェーン店が入ってもいいと思います。田舎にはない都会の文化や新しい風を吹きこんでくれる可能性もありますから。ただし地元と協力してくれることが前提になりますが、まちが年数をかけて変化していくイメージを持つことも大事です。

江商連ニュースでは商店及び商店街の広告を募集しています。詳しくは商連事務所まで。



パソコン講習会開催

情報ネットワーク担当副会長
石井正彦

毎年恒例の情報ネットワーク部主催、パソコン講習会を2月24日(木)午後6時～9時まで商連事務所にて私と情報ネットワーク部長の福島さんの二人が説明役として開催致しました。今回の講習科目は、デジカメで撮った写真をパソコンに取り入れ、専用ソフトを使い、明るさ・コントラスト等の画質調整、サイズ調整、トリミング、文字入力、保存まで一連の画像管理の方法を講習しました。また、写真をワードに貼り付け、文章の中に組み込む方法も勉強しました。これにより写真を入れた売り出しチラシやパンフレットの作成、年賀状の作成にも役立つかと思えます。少人数でありましたが、時間が3時間弱しかなく、駆け足での講習のためご理解いただけたかどうか不安でしたが、和やかに講習できたのではないかと思います。今後は「こんな事を習いたい」「ここが解

らない」という会員の皆様のご要望にお答えできる内容で、講習会を開催していきたいと考えております。ご要望等ございましたら商連事務所までお知らせ下さい。



歳末福引大売出し報告

砂町銀座商店街(振)

理事長 竹井幸三郎

恒例の歳末福引は、十一月二十日(土)～十二月十九日(日)三十日間で実施致しました。

今回は、デフレの長期化、急激な円高、雇用不安と大変厳しい経済状況が続いており、かつ至近に(アリオ敷地面積三二、五〇〇㎡・専門店一一九店とイトーヨーカ堂、駐車場二、一五〇台、駐輪場一、三七〇台)が六月四日にオープンしたときから商店街を活性化させようという内容を変更いたしました。

ガラポン抽選会

辰巳商店会 小島 保

辰巳商店会は「たつみポイントカード」を機軸に歳末売り出しなどのイベントを実施しております。最近ではギター演奏が趣味と言うH氏と音大生のM氏の協力でミニライブとカラオケ大会を開催していったのですが、H氏が転職してしまいましたが、H氏が転職してしまったのは残念でした。その分ガラポン抽選会には力を入れ特別賞には地デジ放送対応三十二V型液晶ハイビジョンテレビを目玉に、特賞は現金二万円、一・三等は江東区内共通商品券と外れ無しの「絶対得する抽選会」を実施致しました。

たつみポイントカードの満点カード三枚は通常時には一、五〇〇円のお買物にご利用頂けるのですが、抽選会では最低の三等賞でも二、〇〇〇円の商品券を進呈いたします。特賞に当選されたお客様の喜びの笑顔は嬉しいこの時代に於いて我々商店経営者の一服の栄養剤に成ります。また共通商品券を辰巳商店会でご利用頂く事により購買力の大増進に對抗しております。

計報

江東区商店街連合会会計監事・江東区商店街振興組合会計監事でありましたダイカツ薬局 川崎道夫氏が一月二十六日ご逝去されました。享年七十九歳。ここに謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

常任理事会報告

▼十一月十六日(参加十六名)

一、第二十八回江東区民まつり開催の件

・ふるさとまつりバザール実施要綱

・バザール申込及び説明会開催の件

・プレミアム付共通商品券販売の件

一、江商連ニュース八十三号発行の件

▼十二月、一月常任理事会は休会です

▼二月十八日(参加十五名)

一、都商連・会長会議報告

・商店街フラッグ事業について

一、東京都大マラソン祭り参加の件

一、商連パソコン講習会開催の件

一、新年賀詞交歓会報告

一、次年度若手交流会開催の件

編集後記

広報部長 石井正彦

ついこの前まで、テレビのニュースなどで「日本経済はデフレスパイラルに陥って大変だ」と、「今後は緩やかなインフレにもって行かなければならない」と言われていました。最近になって「原油、小麦、コーヒー等の値上がり深刻な問題となり大変だ」といつて小売価格は上げられない」という状況になりました。あれインフレにもって行けて言ったのは誰だったの？みんな輸入品なのに円高差益はどうなったの？原材料費が上がったのに小売価格が上げられないとはどういうこと？みんなが上げるまでじっと我慢なの？それでお店はもつの？疑問だらけでやっぱり経済って難しいです。ここは一度池上さんに聞くしかないのかな...

平成23年 江東区商店街連合会 江東区商店街振興組合連合会 新年賀詞交歓会開催

江東区商店街連合会、江東区商店街振興組合連合会合同の新年賀詞交歓会が一月十一日（火）午後六時より、ティアラこうとう大会議室にて開催されました。当日は山崎江東区長様はじめ多くの来賓の方々、大型店、一般会員を合わせて総勢一六〇名余りの参加者で、盛大に執り行われました。

新年の挨拶

会長 唐川和夫



新年あけましておめでと
うございます。

日頃は何かと江東区の商店街活動にご協力を頂き誠にありがとうございます。厚くお礼を申し上げます。

年号が平成に変わってより売上げの右肩下がりが続き、一昨年のリーマンショックはさらに追い討ちを掛け、私たちの商店街活動はいうに及ばずデフレや消費の多様化に追いつけていけない感があります。

今や政治は先が読めず全くの不透明、経済は空回りして、もはや手のつけられない最悪の一年でした。本年は統一地方選挙の年でもあります。お世話になって

年頭挨拶

江東区長 山崎孝明



皆さん、明けましておめでとうございます。区長の山崎孝明でございます。

江東区商店街連合会及び江東区商店街振興組合連合会の賀詞交歓会にあたり、一言ご挨拶を申し上げます。

まずもって、本日お集まりの皆様方には、ご健勝で新年を迎えられましたことを心よりお慶び申し上げます。また、区商連・区振連の皆様方には、日頃より本区の商店街振興に一方ならぬご協力をいただいておりますことに、この場をお借りして感謝申し上げます。

さて、昨今の報道によりますと、海外経済の減速による輸出減や、円高・デフレなどの影響で、日本経済は相変わらず先の見えない厳しい状況が続いております。

日本全体の景気状況が厳しい中で、区の出来る経済施策は自ずと限られてはまいりますが、昨年も、イベント実施、LED化などの環境整備、ホームページ作成、装飾灯電気料など多様な事業に対して、ハード・ソフト両面からの支援を行い、皆様方をバックアップしてきたところでございます。

また、来年度に向けて、装飾灯電気料の助成の更なる拡

充や、区民まつりで販売しているプレミアム付区内共通商品券の発行額拡大を検討しております。社会貢献事業として皆様方のご協力を得て実施している「さんかカード事業」については、応援キャンペーンを引き続き実施し、協賛店のバックアップと商店街振興を図ってまいります。

多くの区内商店街は、景気低迷に加え大型店の進出などもありまして、非常に厳しい経営状況に置かれておりますが、区では地域コミュニティの核として、また区民の安心安全を担うエリアとして、商店街の活性化が不可欠であると考

えております。このため、今後とも区商連・区振連の皆さんと連携しながら、より効果的な活性化事業を実施してまいりますので、特段のご理解、ご協力をお願い申し上げます。

最後になりますが、江東区商店街連合会及び江東区商店街振興組合連合会の益々のご発展と、本日お集まりの皆様のご多幸をお祈りいたしまして、新年の挨拶とさせていただきます。



懇親会では目KOさんが熱唱

江東区内の商店街加入者の皆様へ マル経融資のご案内

江東区の利子補助
スタート!!

融資返済・措置
期間が延長!!

(無担保・無保証人・低金利・保証料不要)

- 小規模事業者の経営を支援するための国（日本政策金融公庫）の公的融資制度です。
- 商工会議所の経営指導と推薦により無担保・無保証人で低利の融資が受けられます。
- さらに設備資金は、借入当初2年間の金利が0.5%減免され、1.45%に!!

上限 1,500万円

担保・保証人 不要

年利 1.95%

● 保証協会の保証も不要です。

(平成23年2月9日現在)

※融資対象は、正社員20人以下（商業・サービス業5人以下）の法人・個人事業主の方となります。

※審査の結果、ご希望に添えない場合がございます。 ※会員・非会員を問わずご利用いただけます。

※本限度額・返済期間の取扱は、平成23年3月31日の日本政策金融公庫受付分迄となります。

融資相談 東京商工会議所 江東支部
問合わせ先: 江東区東陽4-5-18 江東区産業会館2階 (東西線 東陽町駅徒歩1分)

電話: 3699-6111
FAX: 3699-5511

窓口専門相談
(法律・税務) 実施中